



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さまと協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.35

地域連携病院③「リハビリテーション大神子病院」

今回は、徳島市大原町にあるリハビリテーション大神子病院をご紹介します。

■リハビリテーションに尽力

リハビリテーション大神子病院は、「ときに治し しばしば慰め 常に癒す」という理念のもと、回復期や慢性期の患者さんの診療を主に担っています。病院の名称にもあるとおり、リハビリテーションには特に尽力しており、四国では数少ない促通反復療法(川平法)を行う医療機関のひとつです。脳卒中などの後遺症により麻痺がある患者さんに対しては、電気刺激療法や振動刺激療法と併せて促通反復療法(川平法)を行うことにより、自分のちからで動作を行えるような機能改善に効果をあげています。また、敷地内には『夢の園』と命名されたリハビリ庭園があり、四季折々の木々の下を散歩したり、ご家族と談笑の時間を過ごしたりできます。



↑リハビリ庭園「夢の園」

■四季に寄り添う取り組み

療養病床や介護医療院のあるリハビリテーション大神子病院では、入院生活において

も四季を感じていただきたいの思いから、季節に応じた食事や催しを提供しています。春には敷地内に植えられた大きな桜を見ながらのお花見、夏には夏祭りを開催し花火を打ち上げるなど、季節の風物詩を鑑賞していただきます。また、病院食にも力を入れており、食堂で行うバイキングでは、色とりどりのお寿司や旬を取り入れた総菜を自由に選んで食べることができるなど、患者さんから好評です。



↑花見弁当

■3年後の移転に向けて

リハビリテーション大神子病院は、令和4年に大原地区に移転します。現在の海と山に囲まれた所から移転することで、地域の医療を包括的に担う病院として生まれ変わります。その後ショートステイ、グループホーム、特養も順次移転し医療・福祉の街として地域の皆様の暮らしをサポートしていきます。

「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しをめざして、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。

問い合わせは

リハビリテーション大神子病院
徳島県徳島市大原町大神子19番地
Tel.088-662-1014

■説明は

(上段左から)

細川 友和(ほそかわ ともかず)リハビリテーション部課長 / 吉田 成二(よしだ せいじ)院長 / 原 和枝(はら かずえ)看護部長

(下段左から)

永島 ゆかり(ながしま ゆかり)MSW / 船越 愛美(ふなこし めぐみ)MSW / 高岡 真代(たかおか まよ)MSW

